

事前復興まちづくりワークショップ

阿南市津乃峰地区、海陽町穴喰浦地区をモデル地区として事前復興まちづくりワークショップを開催しました。

令和3年度モデル実施

事前復興とは

被災前からの復興に向けた様々な取組です。

【個人ができること】

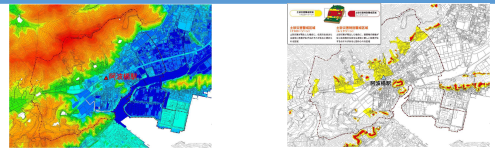
- ・地震保険の加入
- ・ハザードマップの確認、避難ルールの検討
- ・被災後の生活を家族や地域で話し合う



事前復興まちづくりワークショップの流れ

①地域の被災イメージを共有

ハザードマップをもとに地域の被災イメージを共有



②被災後の再建シナリオの作成

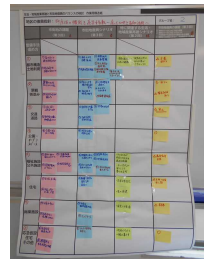
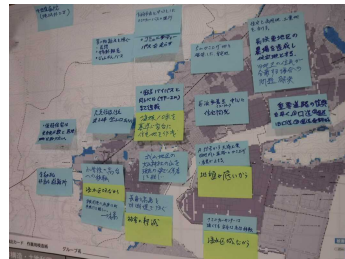
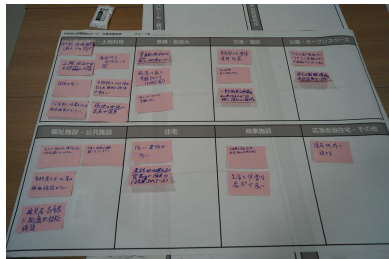
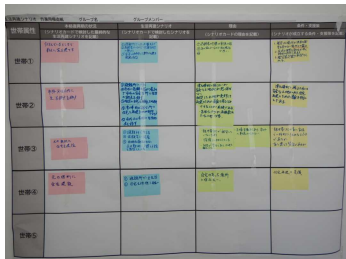
発災後に自身の生活が元に戻るまでの生活や産業の再建、まちの課題整理、市街地復興シナリオ等について話し合い、復興に向けた合意形成の過程を体験

生活再建シナリオ
産業再建シナリオ

市街地課題整理

市街地復興シナリオ

市街地復興の
バランス検討



被災後のイメージを共有し、復興について事前に話し合っておくことで、被災後の円滑な復興に繋がります。

事前の復興議論は、地方創生や交流人口の拡大など、地域の活性に役立ちます。

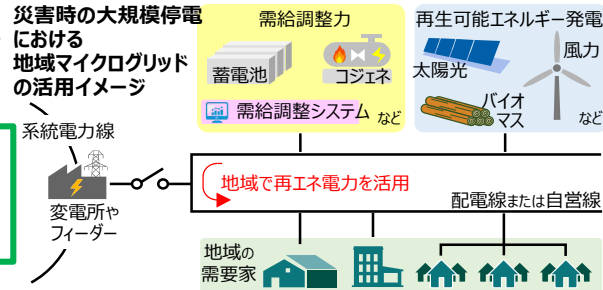
皆さんのお住いの地域でも事前復興について考えてみませんか？

令和4年度 事前復興・地域マイクログリッド融合事業補助金 ～「地域マイクログリッド」の視点を取り入れた 「事前復興まちづくり」に取り組む方々を募集します～

**補助率 1/2
補助上限額 100万円**

地域マイクログリッドとは

普段は既設の送配電ネットワークを活用して電気を調達し、非常時には、ネットワークから切り離して地域で電気の自給自足をするエネルギーシステムです。



事前復興まちづくりワークショップとは

地域の被災イメージを共有と、発災後の復興に向けた話し合い

- ①被災イメージの共有
- ②生活再建シナリオの作成
- ③地域産業再建シナリオの作成
- ④市街地復興シナリオの作成



ワークショップとは

参加者が班ごとに意見を出し合い、複数の意見を集約していく場

融合イメージ

区分	復興まちづくりの視点	地域マイクログリッドの視点
生活再建シナリオ作成	A氏:避難所→近隣賃貸→元敷地一戸建	+ 地域内再建は太陽光・蓄電池必須
	B氏:避難所→両親宅同居→町外移転	+ 売却土地は太陽光発電区域へ集約
産業再建シナリオ作成	新たな雇用の場の確保	+ 配送電・最適運用・設備保守会社設立
	耕作放棄地解消	+ 耕作放棄地集約による発電区域化
市街地課題整理	空き家用地の有効活用	+ 空き家用地集約による発電区域化
	電柱・電線の倒壊対策, 景観配慮	+ 電線地中化(災害に強いまち)
市街地復興シナリオ作成	事前の復興計画案	+ 復興+マイクログリッド合意形成
	地盤の嵩上げ+土地区画整理, 高台移転	+ 自営線によるマイクログリッド化

補助金について

補助対象: 自主防災組織等の住民団体, 企業等

対象事業: 地域マイクログリッド構想を取り入れた事前復興まちづくりワークショップの開催

対象経費: 講師・外部人材の招へい費用消耗品, 印刷製本費, 通信運搬費, 会場代, コンサルティング会社への委託料等

その他条件: 10人以上の参加。4時間以上の活動時間。実績報告書の作成 等

※補助金の交付決定前の活動は認められません。

申請について

申請方法や必要な書類、事業の詳細は、下記ホームページから御確認ください。

第1回交付決定分: 5月31日締切(必着)→6月頃の交付決定後事業本格着手へ

被災後を見据えた地域づくりに関心のある皆様の御連絡をお待ちしています！！



事業実施のメリット①
住民・地域にとっては、復興の予行演習による自助・共助の向上

事業実施のメリット②
企業にとっては、地域社会貢献の向上(CSRの向上)

事業実施希望者には、令和3年度「事前復興まちづくりワークショップ」の電子ファイル(様式例等)を提供します。

徳島県危機管理環境部とくしまゼロ作戦課事前復興室

電話番号: 088-621-2107

メール: tokushimazerosakusenka@pref.tokushima.jp

ホームページ: <http://anshin.pref.tokushima.jp/docs/2022022800015/>

